

19年度首都圏での受注量増加など背景

北海道I T推進協会がまとめた「北海道I Tレポート2020」によると、道内I T産業の2019年度売上高は前年度比4.9%増の4813億円と8年連続で増加した。道内、首都圏での受注量増加や、新規顧客獲得が進んでいることが背景にある。20年度売上高見込みはコロナ禍の影響で4731億円と減額を予測している。

道内に立地しているI T産業本社事業所・道外本社企業の道内事業所、8809事業所を対象に、経営実態や課題を把握するためのアンケートを実施。221事業所が回答した。回答率24.9%。

19年度の業績として、4813億円と7年連続で4000億円台を維持。59.8%が増収になった。回答として、売上高の規模別で見ると、10億円以上の55.9%が増収・増益として増収の主な要因として、道内受注量の増加と答えたのが全体の55.5%を占めた。次いで首都圏受注量の増加が39.1%、新規顧客の開拓が33.6%と続いた。

道内事業者の取引先としては同業他社が最多。このほか官公庁、卸売・小売・飲食店、食関連以外の製造業の順に割合が高かった。

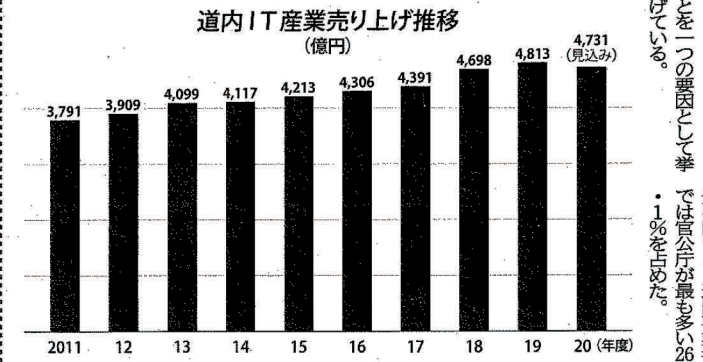
20年度の売上高見込みは、全体で4731億円と9年ぶりに前年度を下回る予測。新型コロナウイルス感染症拡大の影響で、カーナビや自動車関連機器を扱う製造業からの受注が落ち込んだこととを一つの要因として挙げている。

道内 I T 売上高4.9%増 4813億円で8年連続プラス

維持。59.8%が増収になった。回答として、売上高の規模別で見ると、10億円以上の55.9%が増収・増益として増収の主な要因として、道内受注量の増加と答えたのが全体の55.5%を占めた。次いで首都圏受注量の増加が39.1%、新規顧客の開拓が33.6%と続いた。

道内事業者の取引先としては同業他社が最多。このほか官公庁、卸売・小売・飲食店、食関連以外の製造業の順に割合が高かった。

20年度の売上高見込みは、全体で4731億円と9年ぶりに前年度を下回る予測。新型コロナウイルス感染症拡大の影響で、カーナビや自動車関連機器を扱う製造業からの受注が落ち込んだこととを一つの要因として挙げている。



このほか、開始したいと考えている新規取引区分を聞くと、道内事業者では官公庁が最も多い26.1%を占めた。

日本グランデ 宮の森に分譲MS 2月上旬にも見積依頼

日本グランデ(札幌市中央区大通西5丁目)の1、平野雅博社長は、分譲マンションの仮称「サンマル」宮の森共同

住居新築を計画している。2月下旬にも見積依頼を依頼する見通しだ。3月中旬の着工予定で、3月末の完成を目指す。

建設地は札幌市中央区宮の森3条4丁目1番地を含む約15万平方メートルの敷地。住戸は1LDK4LDKの計51戸を配置する考え。共用施設として、

南9西12の賃貸MS新築 アスク工業で

仮称M1050WZマンション新築を主体、設備一括でMS工業に依頼した。2月中旬の着工と9月中旬の完成を目指している。

RC造、5階、延べ990平方メートルの規模。住戸は1LDK14戸、エントラーは1基設置する。設計は自社で担当。建設地は札幌市中央区南9条西12丁目8番地の1を含む敷地2000平方メートル。菊水旭山公園通に近く、周囲には賃貸マンションなどが並んでいる。

建設地は札幌市中央区宮の森3条4丁目1番地を含む約15万平方メートルの敷地。住戸は1LDK4LDKの計51戸を配置する考え。共用施設として、

大和ハウスに依頼

丸連トランス本社事務所改築。石油製品の配送センターを担う丸連トランスポート札幌(札幌市白石区菊水1上町4条4丁目3)の松井信治社長は、本社事務所改築の設計施工を大和ハウス工業に依頼した。5月中旬の着工と11月上旬の完成を目指している。中央店新築が進んでいる。

RC造、5階、延べ990平方メートルの規模。現施設を朽化のため改築を決めた。周囲には賃貸マンションなどが並んでいる。近隣エリアの中央3条3丁目では、1号館の着工も進んでいる。

建設地は札幌市中央区宮の森3条4丁目1番地を含む約15万平方メートルの敷地。住戸は1LDK4LDKの計51戸を配置する考え。共用施設として、

北海道中央バスは、住宅を推進する。事業所向けに説明会を開催。12月10日、11日にオンラインで説明会を開催し、2021年度事業

第3種郵便物認可

省 スマートウェルネス住宅推進 事業者向けに説明会を開催

第3種郵便物認可